

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 &lt;第60号&gt;

**かながわ異グ連ニュース**

発行：神奈川異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センター5F  
 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194  
 Email: [zan25564@nifty.com](mailto:zan25564@nifty.com) <http://www.kanagawa-iguren.com>

**かながわ異グ連ニュース第60号発刊によせて**(議長、副議長、専務理事)

神奈川異業種グループ連絡会議議長(NPO法人 INF理事長)南出健一

異グ連ニュース配信ができるようになって5~6年になったでしょうか。今では当たり前のようにしているインターネットも当時、重宝に使いこなしている人は僅かだったように記憶しています。「メールよりもファックスの方が確実だ」とか訳の分からないことをいう御仁もチラホラお見受けしました。

たしか異グ連スタッフ何人かと出張した折です、お互いまる酔い機嫌で取り留めの無い議論をしている最中、突如まなじりを決した我が編集長氏が面前の某氏をつかまえ「なぜメールを使おうとしないのか」と食いつきました。「あんなもの使わなくても用は足りている」という強がりに「そういう負け惜しみを言っていると時代に取り残されるよ」鮮やかな一発は今でも忘れられません。

最近ビジネスの世界では情報選択力の有無が云々されています。情報を生かすも殺すも扱う人間次第ということなのでしょう。私たちは人間として守らなければならない情報選択の原則があるはずで、それが無視された時、社会を取巻く機能が無節操な状態になるのを何度も目の当たりにしてきました。

さて、異グ連ニュースは限られた配信とはいえ60回にも及ぶ発信が出来たのは「守るべき原則」を大切にしたからこそ継続できたのでは考えています。それ故、苦心惨憺しながらニュースソース集めにご尽力して下さる編集関係者に「ありがとう」という感謝の気持ちで一杯なのです。よくぞ頑張ってくださいました。とはいえ何回か原稿依頼を反故にして「議長！スペースを空けて待っていたのに…」と叱られた負い目を持つ私にとって、今更ながら発刊「60回」の節目記事を書くとは正直「針のむしろ」に座らされている思いがする次第です。

神奈川異業種グループ連絡会議副議長(横須賀交流プラザ理事長)雑賀政徳

神奈川異業種グループ連絡会議の情報誌(かながわ異グ連ニュース)は第60号(H19年9月号)を発刊する運びとなりました。神奈川異グ連も創設22年になり、企業・個人を取り巻く経済環境はグローバルに変革しています。異業種交流活動も変化と歴史を経て再生の時代に突入しました。異業種交流の必須条件は、ビジネス交流・専門分野交流・文化芸術交流が三位一体となり融合し、時には産学公連携もあって、研究開発や再生異業種交流がスタートします。

世界の産業は、LT(ライフテクノロジー:食品・医療)、ET(エネルギーテクノロジー:電気・ガス)、IT(インフォメーションテクノロジー:情報技術)の3分野から成り立っています。近未来には、3分野が一体となると言われていますが、人の温かい心はその全ての鍵を握り、人と人が対してこそ反映(\*)が成り立ちます。近年、ISMS(インフォメーション・セキュリティ・マネジメントシステム)の確立が叫ばれています。ダーウインの進化論によると、この世に生き残る生物は、最も強いものでもなく、最も賢いものでもなく、最も変化に対応できるものである、といえます。私共、団体・各企業もグローバルな市場動向を把握し、可視化経営(企業の視覚の強化)しつつ今後共に交流を深めていきたいと思えます。

(\*) 繁栄ではなく、反映としたのは、人と人が対してこそ栄えるのではなく、人と人が対してこそ、フィードバックがあるという意味合いです。栄える事が目的ではなく、分かり合える事が大事な近未来を願っています。

**60号到達の意義**

神奈川異業種グループ連絡会議専務理事 芝 忠

現在の「異グ連ニュース」には前史があります。異グ連結成時(1984)、活版印刷で「季刊異業種交流」が発刊されました。B5版、2色刷りで5号まで発行されたあと、事務局が神奈川工業試験所から現在の中小企業センターに移設されたときに新たに「かながわ異業種交流センター通信」が発刊されました。A4版、4~6頁、活版印刷で1995年から2003年まで30号まで発行されました。

2002年9月に発刊された異グ連ニュース創刊号では、「かながわ異業種交流センター通信」は編集スタッフの労力や、発行経費、広告費等の問題から最近では年1~2回の発行に留まっています。会員に対する情報提供という意味では看過出来ない問題になっております。そこで想を改め、月間または隔月刊くらいで、最新の活動状況や異業種交流関連情報、イベント情報、あるいは異業種交流論等を提供する『異グ連ニュース(仮称)』を発刊することといたしました。」と述べています。「センター通信」が予算の関係もあって2003年2月に事実上廃刊される中で、上記の役割を立派に果たしてきました。

月刊を維持するのは並大抵の努力では出来ません。原稿を提供頂く方々や編集担当者の苦勞に深く感謝したいと

思います。5年間・60号に達した機会に総括的に評価するならば、①月刊が維持されていますので、情報のスピードが早い、②重要行事の報告・各グループの活動報告・イベントの予告・論文等の掲載などバランスよくまとめられている、③配信先には会員だけでなく、全国の異業種交流協議会組織及び関係者も対象となっておりますので、その情報伝達力は予想以上である、④分量もメール配信の限界(A4版で4～6頁)内で、やや盛沢山で多いかなという感じ。しかしそうした多様な活動を異グ連が全体で実施しているという証明でもあります。

今後も会員の皆様の声をさらに生かす方向で継続していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 産学官交流サロンのコーナー

### おなじみ尾上町サロン

**日時: 毎月第一・三金曜日(9月21日、10月5日)** 会場: 神奈川中小企業センター5F産業交流プラザ  
連絡問合せ: 神奈川異グ連事務局 芝、八幡、島津龍男、児玉、鈴木 045-633-5142

#### 第11回 西湘サロンの開催案内

**日時: H19年11月12日(月) 18:00～20:00**

会場: あいおい損保小田原支社 3F会議室  
小田原市城山1-6-22 瀬戸ビル

話題: 「**理学療法と役立つ運動機能**」

国際医療福祉大学 准教授 昇 寛 氏

(国際医療福祉大学の小田原保健医療学部は、看護師・保健士・理学療法士・作業療法士を育成するために、H18年4月に小田原市に開設されました)

参加費: 1000円 申込: 芝、島津、吉池 045-633-5142

**第21回川崎経済人サロン:** 10月中旬以降に開催予定。  
テーマ仮題「元気なもののづくり企業の原動力と将来展望」

問合せ: 松井、渡部

**第23回三浦半島経済人サロン:** 11月中旬に開催予定。

問合せ: 八幡

**第22回よこはまサロン:** 9月27日(木)開催予定。

テーマ仮題「横浜市の防災対策関連」

問合せ: 池谷

産学官交流サロン全般に関する意見や、問合せは神奈川異グ連事務局専務理事・芝忠へ045-633-5142

## かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

### まんてんプロジェクト

千田BC

●東京都が主催する**第10回東京都産業交流展(10月25日、26日 東京ビッグサイト)**

において、航空機関連中小企業の特設展示ゾーンが設けられることとなり、まんてんプロジェクトおよびJAXA、東京大学、早稲田大学、日本大学、首都大学東京、東京都立産業技術高等専門学校、が出演することが決まった。「まんてん」からは、水上飛行機開発事業協同組合が新型フロートを装着した水上飛行機、およびメンバー企業が各社の得意技術を展示する。また、特別セミナーにおいて、中小企業の参入事例に関し「まんてん」からプレゼンテーションを行うこととなった。この展示会は出展企業数700余、参加者4万と我が国の中小企業関連展示会では最大規模である。東京都は本年から開始した中小企業の航空機産業参入支援の一環として特設展示ゾーンを設けた。

●早稲田大学の理工学総合研究所が航空機に関する産学連携の一環として、「**航空機部品の国産化に関する研究会**」を8月21日にスタートした。東京都、JAXA、まんてんがこれに協力し、1～2年間をかけて各方面の専門家を委員会委員に委嘱し、立ち遅れている我が国の航空機部品の国産化に関し、法制度、技術、市場、海外との比較など多方面に亘り中立的な観点から総合的に研究し、その結果を広く公表することを目的としている。

部品も純正部品のほか、汎用部品についても研究するなど、我が国で初めての航空機部品に関する総合的なオープンな研究会であり、その成果が期待される。保守部品のコスト削減に大きな関心があるエアライン各社も、非常に注目している。

●**10月19日(金)にまんてんセミナー**を開催する。今回のテーマは「**無人航空機(UAV)**」。筑波の産業技術総合研究所、大学などからの講師を予定。

問い合わせはJASPA千田まで。(TEL: 045-264-8550 E-mail: [senda@jaspa.co.jp](mailto:senda@jaspa.co.jp))

まんてんプロジェクト関連での詳細問合せは、<http://www.manten-project.org/>より

### シフト21

有村知里BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に、原則第二火曜日に定例会を開催しております。(場所はかながわ県民センター)

9月定例会は9月11日(火)に会員の菊地敏雄氏(菊地マネジメントラボ)に「最新医療トピックス」についてお話をいただきました。菊地氏は2007年1月に「図解入門ビジネス「最新 医療サービスの基本と仕組みがよ〜くわかる本」(株)秀和システムを上梓されており、執筆の経緯とその内容、ケアサービスの基本的考え方、新

しい高齢者医療制度関連情報など最新の医療福祉トピックスについて解説いただきました。

10月定例会は、「**ご存知ですか？爪の役割～いつまでも自分の足で歩くために～**」というテーマで、合同会社(LLC)爪切り屋メディカルフットケア横浜 代表社員 中野理子氏にお話をいただきます。

中野氏は通所介護施設で高齢者介護に携わった後、メディカルフットケアを学び、仲間3人と平成18年5月に会社を設立、同年9月白楽に「爪切り屋足楽」を開店されました。「爪切りって仕事になるの？」という周囲の疑問の中で開業され、事業を着実に展開されていらっしゃる工夫や、新しい法人形態であるLLCを設立された感想などもお話いただく予定です。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。  
(arimura-c@nifty.com)

### 第78回日韓ビジネス協議会

高橋導徳BC

第77回日韓ビジネス協議会は8月22日に慣例の工場見学会(暑気払い)を、キリンビール横浜ビアビレッジで開催しました。多数のご参加を有難う御座いました。次回は次の要領で開催しますのでご参加ください。

日時: **9月26日(水)15:00～17:00定例会** 17:15～18:15 懇親会

場所: 神奈川中小企業センタービル5階 会議室

- 1、日本企業紹介: (株)ヒューマノイド/コミュニケーション・ロボット 代表取締役 森岡昌紀氏
- 2、最近の韓国情報など…(財)韓国中小企業振興公団 日本事務所 所長 梁 海震氏
- 3、ベトナム・ハノイの最新状況について…関東建設工業(株) 国際部顧問 池谷敏雄氏
- 4、第3回神奈川県＝韓国・京畿道との「異業種国際交流会」について 事務局より報告  
…11月1日(水)JR桜木町駅前 ブリーズベイホテルにて開催
- 5、基調講演:「**日本における韓国化粧品事情**」について…(有)精美堂 代表取締役 野口 修氏  
関心ある企業の参加者を歓迎致します。会費は1,000円です。  
連絡申込先 TEL&FAX:045-311-0094 高橋迄 MAIL: [mtakahas@tb3.so-net.ne.jp](mailto:mtakahas@tb3.so-net.ne.jp) \_

### 静岡での「中小商工業交流・研究集会」

芝忠

9月1日から3日間、静岡市で「第15回中小商工業全国交流・研究集会」が開催され全国から1,000人が参加しました。隔年に全国持ち回りで開催されるもので、横浜でも過去2回開催されています。いわゆるテーマ別の分科会が20もあり、そのほかにパネルディスカッション3、基礎講座3という実に多くのグループ分けがあります。私も何回か参加してきましたが、今回「**広げる－ネットワーク**」のパネルディスカッションのコーディネータを仰せつかりました。

パネラーは①長野県岡谷市で染色業から精密板金加工へ転業し、さらにコンピュータ関連の電子機器部品や製品づくりに何度も転換した事例(荒井潔(有)日拓精工社長)②大阪市生野区で下請加工業者と異業種グループ「フォーラム・アイ」を運営し、中国やイタリアから学んだという事例(佐藤元相(有)エヌ・エヌ・エーテンドーサービス社長)③自治体の産業政策を研究している慶応大学教授の植田浩史氏の3人。植田先生は私どもが今取り組んでいる「中小企業振興条例」問題の調査研究者の第一人者で、「**自治体の地域産業政策と中小企業振興基本条例**」(自治体研究社)を最近発刊されたばかりです。また神奈川県の条例づくりを行う「**かながわ産業活性化懇談会**」の委員にも委嘱されているという、私にとっては大変タイムリーな出会いでした。2人の中小企業経営者は苦闘の中から展望を掴もうとしている報告で大変勇気付けられました。

この研究集会では他の分科会やパネルディスカッションでも「**異業種交流による製品開発やネットワーク論**」が多々展開されたようで、「異業種交流はまだまだ元気」という印象です。さらに自治体の地域産業活性化策の中心的な柱として「中小企業振興条例」問題がやはり多くの所で触れられていたことも特徴でした。特に千葉県の条例が予想以上に深い内容で、行政法の専門家である静岡大学の三橋良士明教授から条例づくりのプロセスが高く評価されていたのが印象的でした。京都大学の岡田知弘教授は地域経済の循環で大手企業が利益を中央に持って行ってしまっ、肝心の地元への貢献が非常に少ない、それに引き換え中小企業の貢献度合いをもっと評価すべきという持論を展開して、中小企業振興条例の重要性を強調していました。

私は神奈川県や神奈川中小企業センター、もちろん異グ連もですが、中小企業の支援のための努力を職員や幹部が必死にやらないと「中小企業支援機関としての存在価値がないな」という印象を改めて受けました。その反省とともに異グ連の「**条例づくり運動**」が現在の局面で極めて重要かつ先進的な役割を果たしているということに確信を持ちました。

9月12日に第一回の「**かながわ産業活性化懇談会**」が開催され、いよいよ神奈川県も具体的に条例づくりを開始します。「何故、今、条例か？」という理論問題とともに、具体的な中小企業支援政策を豊富にする取り組みを強化したいと思います。

## 関連イベントなどのお知らせ

<p><b>第3回中小企業振興条例づくりセミナー</b>  <b>日時:</b>H19年10月01日(金)17:30~20:00  <b>場所:</b> 神奈川中小企業センター13階 第二会議室  <b>講演1</b>「中小企業を取り巻く醸成と中小企業振興条例」(仮題) 横浜国大三井逸友教授  <b>講演2</b>「墨田区中小企業振興条例の運用と効果」(仮題) 東京都墨田区産業経済課小坂橋一之主査  <b>申込:</b> 9/26までに異グ連事務局 芝、八幡、島津龍、島津俊へ 045-633-5194 参加費: 資料代1000円</p>	<p><b>経営力を高めるセミナー～資本金質を強化する会計～</b>  <b>日時:</b> 10月11日、17日、11月5日、12日  <b>13:30~16:30</b>(ご都合の良い日にご参加ください)  <b>場所:</b> 神奈川中小企業センター13階 第3会議室  <b>内容</b>(4日間とも同じです) 講師: 島津龍男、小林巽          ・中小企業会計・財務会計の構造・重点方針と事業計画・資金体質の強化・売上予算と資金繰り・税法改正のポイント  <b>主催:</b> かながわ異グ連、中小企業基盤機構 他  <b>問合せ申込:</b> 異グ連事務局 芝 島津達男          TEL045-633-5142 FAX045-633-5194</p>
<p><b>中小企業技術革新(SBIR)制度説明会</b>  <b>日時:</b> 第一回H19年10月11日(木) いずれも          第二回H19年11月29日(木) } 13:30~          第三回H20年01月31日(木) } 16:30  <b>場所:</b> 神奈川中小企業センター6階 大研修室  <b>内容:</b> 公的資金活用企業の体験談、SBIR制度概要の説明          最新情報提供、応募のポイント、申請書の記入要領  <b>参加費:</b> 無料 問合せ:(社)日本技術士会神奈川県          tel045-210-0337 fax045-210-0338</p>	<p><b>企業経営者向け戦略セミナー クレームを生かす!!</b>          ~お客様のご意見はお金を払ってでも手に入れたい~  <b>日時:</b> 10月13日(土)13:00~受付  <b>場所:</b> 海員会館1F会議室          芝離宮方面島嶼会館から一軒過ぎて右へ入る。          東京都港区海岸1-4-9 JR浜松町徒歩3分  <b>特別講演</b>「消費者から見た良い対応とは」          国民生活センター元理事吉田良子氏  <b>基調講演1</b>「住宅品質確保法について」          中小企業診断協会 武谷清志氏  <b>基調講演2</b>「消費者保護の消費者契約法について」          中小企業診断協会 瀧澤昌男氏  <b>主催:</b> 中小企業診断協会・安全品質環境実務研究会  <b>参加費:</b> 無料(懇親会は3,000円いただきます)  <b>申込:</b> 丸山 智 tel/fax 048-986-4185</p>
<p><b>H19年度神奈川県ものづくり技術交流会</b>  <b>日時:</b> 10月24日(水)~26日(金)  <b>場所:</b> 神奈川県産業技術センター(海老名市下今泉 705-1)          24日: 燃料電池、デバイス、分析技術、電子応用など          25日: ナノテクノロジー、材料技術、計測など          26日: バイオ、生活工学、異業種交流、資源化、環境など  <b>問合せ:</b> 神奈川県産業技術センター046-236-1500          ものづくり技術交流会事務局 <a href="http://www.kanagawa-iri.go.jp">http://www.kanagawa-iri.go.jp</a></p>	

## 特別寄稿

**デザインが大事になってきた**

魚崎誠也C&amp;S副会長

8月25日にビッグサイトで開かれたグッドデザインプレゼンテーション 2007 に行ってみた。これは毎年開かれているようで、その年のグッドデザイン賞を決めた後、候補になった作品を含めて展示されていた。私のプアな知識であり期待していなかったが、行ってみると当然ながら日用雑貨、家電製品、住宅関連、生活関連、工作機械、建設機械、さては、医療機器、福祉機器、娯楽機器、環境関連など世の中にあるもの全てに及び、ビッグサイトの東 5, 6 棟を使った大掛かりのものであった。やはり昨今のように、新製品の開発が急がれ、他社製品と差別化しなければならぬ時代を反映したのか、デザインに対する関心が、ことのほか強くなった感想を持った。医療機械にしても、従来は機能本位であったものが、より患者に優しいアプローチが出来るように形をスマートにし、明るい色にする配慮など様々な工夫がされていた。

私は、元々ものづくり屋で、自動車、飛行機、船などには必ず設計という工程があり、ものあるところに設計(デザイン)ありで、デザインは手段だと思っていた。ところがここではデザインが主語である。キャッチフレーズに「このデザインに引かがありますか」というのである。商品デザインという言葉から出たのであろう。デザインについての相談は、異グ連の入っている神奈川中小企業センターの総合経営相談室の中に、デザイン支援室があるので相談されるのもよいかと思う。

神奈川県異業種グループ連絡会議<< 事務局 当番 >> アドバイザーが詰めておりますので気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】島津 龍男 村上 嘉男 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】芝 忠 杉本 明子

【木】八幡 敬和 松井 利夫 【金】芝 忠 島津 龍男 【土、日、祭日】休業

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル5階 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194

URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail: [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail [t-onogawa@pro.odn.ne.jp](mailto:t-onogawa@pro.odn.ne.jp) 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本、児玉へ